

【初心者向け】保険と資産形成の違いとは？後悔しない「お金の備え」を徹底解説

はじめに

あなたは今、将来のお金に対する漠然とした不安を抱えていないでしょうか。

「老後の生活費は足りるかな？」「子どもにかかるお金を準備できるか心配だ。」

このような不安を解決するためには、お金に関する知識をつける必要があります、その中でも保険と資産形成の違いの理解が大切です。

この記事では、保険と資産形成の違いやそれぞれの役割などを、わかりやすく解説します。

なんとなく保険に入ったままの人や、これから資産形成を学びたいと考えている人にとって参考となる記事です。ぜひ最後までお読みください。

保険の役割とは？【守りの備え】

保険とは、確率は低いものの、予測できない大きな支出により生活が破綻するリスクに備えるためのものです。

たとえば、一家の働き手が突然亡くなったり、大病を患って長期入院をしたりすると、貯蓄だけでは対応できないような大きなお金が必要になります。

そこで役に立つのが保険です。火災保険や生命保険など、多くの人が少しずつ保険料を出し合う相互扶助の仕組みにより成り立っており、少ない掛け金で大きな保障を得ることが可能です。

自分一人の力では解決できない事態となった時に、経済的なダメージを最小限にしてくれるため、保険は人生において万が一の時の備えとなります。

資産形成の役割とは？【攻めの備え】

一方で資産形成は、将来必要になるお金を計画的に準備することを目的としています。

子どもの大学進学やマイホームの購入、退職後のゆとりあるセカンドライフなど、人生における一大イベントには、まとまったお金が必要です。

資産形成とは、このような目標に向けて貯蓄や投資によってお金を育てていく取り組みを指します。

特に投資は、銀行預金と違い、株式や投資信託などに資金を投じることで、「お金に働いてもらう」という考え方です。

投資の仕組み上、元本が保証されているわけではありません。しかし、長期で運用することで、利息が利息を生む複利の効果により、お金が雪だるま式に増えていく可能性があります。

それぞれの違いを徹底比較

保険と資産形成はどちらもお金の備えですが、その目的は全く異なります。両者の違いを理解し、うまく使い分けることが重要です。

比較項目	保険	資産形成
目的	万が一の損失をカバーする	将来のためにお金を増やす
お金の流れ	掛け金を支払う	お金を毎月積み立て貯蓄や投資をする
お金が必要なタイミング	予測不能な事態の時	イベントを迎えた時

まとめ

この記事では、保険と資産形成の違いと、それぞれの役割について解説しました。

お金の備えについて大切なことは、それぞれの違いを理解し、ご自身の価値観やライフプランと向き合うことです。

この記事をきっかけに、今の保険や備えを見直してみませんか。きっとあなたの将来の不安を安心へと変える一歩となるはずです。